

# 週間漁海況情報—第44号

平成23年10月31日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

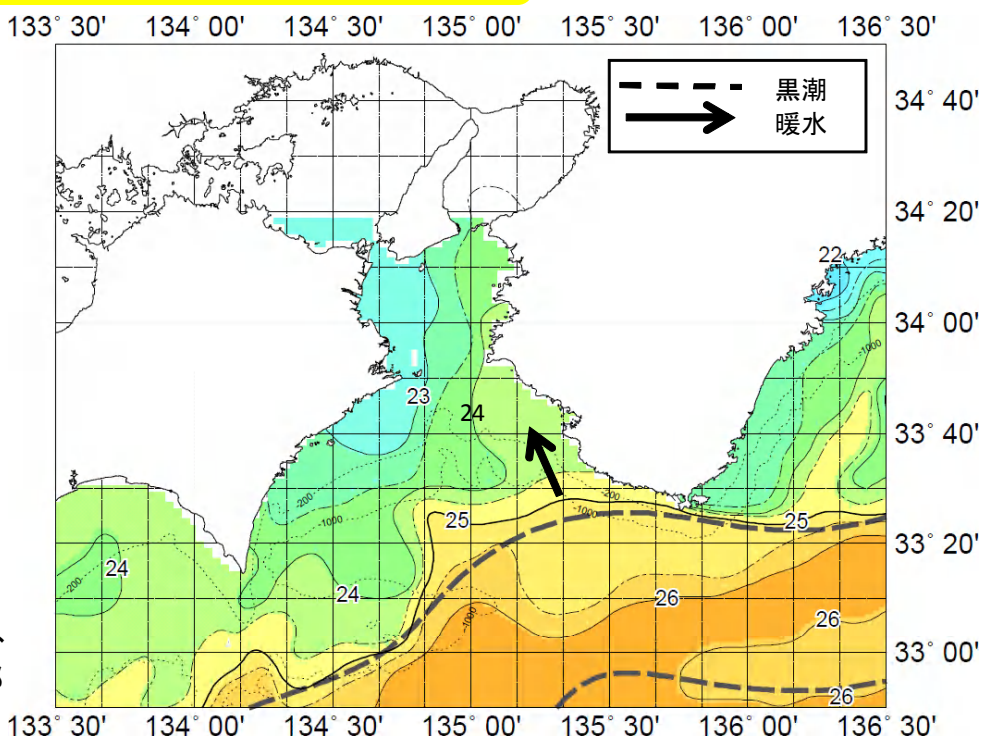
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.10.31）を示した。

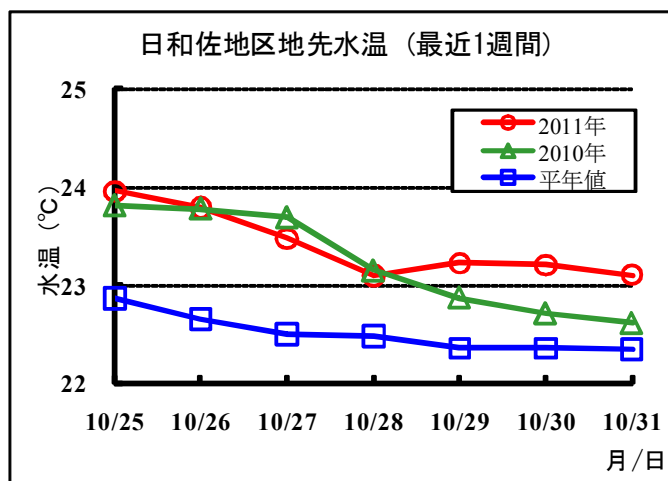
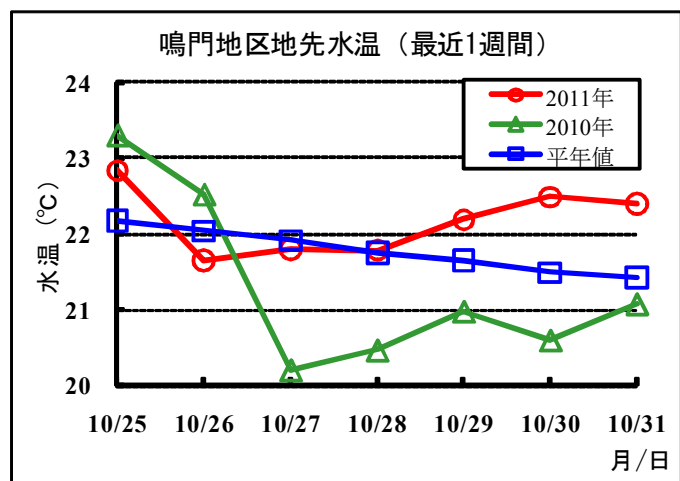
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でかなり離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道で22～24℃台、海部沿岸で22～23℃台である。



土佐湾沖で黒潮の蛇行がみられ、その東端が室戸岬に達している。この影響から、海部沿岸では、内海系水が広く南下しており上灘の表面水温は23℃以下になっている。潮岬沖では、黒潮が接岸し、和歌山県側で黒潮系暖水の流入がみられる。

**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の21.7～22.8℃、日和佐地区で「やや高め」の23.1～24.0℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の22.1～24.3℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にサバフグが0.5トン（1日1隻当たり38kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でカマス類が0.4トン（同12kg）、小主体にタチウオが0.9トン（同25kg）、小主体にマアジが0.2トン（同27kg）、マルソウダが0.5トン（同14kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で小主体にタチウオが0.2トン（同11kg）、海部沖合で中主体にカツオが1.5トン（同379kg）、特大主体にキハダが1.4トン（同16kg）、紀伊水道で中主体にサワラが0.2トン（同16kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道でシラスが59.1トン（同386kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 10月24日～10月30日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	14	529	38	大主体
小型定置網		カマス類	35	430	12	
		タチウオ	37	915	25	小主体
		マアジ	8	212	27	小主体
		マルソウダ	33	467	14	
		タチウオ	19	205	11	小主体
釣り	海部沖合	カツオ	4	1,514	379	中主体
		キハダ	5	1,375	275	特大主体
	紀伊水道	サワラ	13	212	16	中主体
パッチ網		シラス	153	59,075	386	

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の21～22℃台、日和佐地先は「やや高め」の22～23℃台で推移する見込み。

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年10月25～31日の海部沿岸では、小型定置網でヒラソウダが0.2トン、釣りで特大主体にカツオが2.4トン、キハダが1.0トン、小主体にタチウオが0.4トン、メジロが0.3トン水揚げされた。

紀伊水道では、パッチ網でシラスが64トン水揚げされていた。

**他県情報**：宮崎県（10月20日～10月26日）のパッチ網でシラス11.9トン（同1.3トン）が水揚げされた。